

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-131	15-130	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Associations between late and moderately preterm birth and smoking, alcohol, drug use and diet: a population-based case-cohort study. 早産と喫煙、飲酒、薬物の使用、食事内容との関連：ケース・コホート研究		
執筆者		
Smith LK, Draper ES, Evans TA, Field DJ, Johnson SJ, Manktelow BN, Seaton SE, Marlow N, Petrou S, Boyle EM.		
掲載誌		
Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2015 Nov;100(6):F486-91. doi: 10.1136/archdischild-2014-307265.		
キーワード		PMID
早産、アルコール、喫煙、薬物、食事		25972442
要 旨		
<p>目的： 喫煙、飲酒、薬物使用や食事内容などの生活習慣と 32 週から 36 週の late and moderate preterm birth (LMPT) の関連を明らかにする。</p> <p>方法： イギリスのレスターシャーとノッティンガムで 2009 年 9 月から 2010 年 12 月までの死産を含めた単胎妊娠、LMPT 922 例と正期産 (37 週以上) 965 例を分析対象とした。ポワソン回帰分析を用いて LMPT に対する喫煙、飲酒、薬物使用、食事内容の相対危険度と 95% 信頼区間 (RR, 95%CI) を算出した。</p> <p>結果： 妊娠期間中の喫煙は LMPT の危険度が非喫煙者に比べ 38% 高かった (RR 1.38, 95%CI 1.04-1.84)。果物や野菜の摂取が少ない群では多く摂取する群より LMPT の危険度が 31% 高かった (RR 1.31, 95%CI 1.03-1.66)。地中海食要素 (果物か野菜 5 皿・魚週二回以上・肉週二回以下・コーヒー 2 杯以下) をいずれか実践している者と比較すると、いずれも実践していない者は LMPT の危険度が約 2 倍であった (RR 1.81, 95%CI 1.29-2.55)。飲酒、薬物使用は LMPT との関連を認めなかった。</p> <p>結論： 妊娠中の喫煙と乏しい食事内容は、早産の危険度と強く関連していた。妊娠早期の禁煙により LMPT 減少の可能性はある。</p>		